

【ステップ3】 A区の検討（ステップ2で選定した案、応募件数順位順）

No	名称	ふりがな	区名の理由（抜粋）	A B 重複	応募件数 順位
1	奏区	かなでく	<ul style="list-style-type: none"> 遠州の波、川の水、木々の音（自然の音色）、オートバイ・車等産業の音、人々が和する心の音、楽器～音楽の音、全てを調和し奏でる音色。 楽器、織機、自動車、バイクが奏でる音。たくさんの区の特徴が一緒になって奏でる和。 5つの区がひとつになることで、より素敵な音を奏でるイメージ。 多様な年代、国籍、価値観、産業等が共榮し奏で合うという趣旨。 音楽だけでなく、様々な企業が手を組み、1つのハーモニーを“奏でる”という意味を込めて。 人、社会、地球環境の調和を図り、ものづくりを通じて持続可能な社会実現となるように。 音楽の街として音を“奏でる”と、色々な事柄・ハーモニーを“奏でる”という両方の意味を込めて。 		19
2	灘区	なだく	<ul style="list-style-type: none"> 遠州灘が由来。 3区の中で唯一太平洋（遠州灘）に接しており、浜松市の名称と同様海に関連付けた名称が相応しい。 マリンスポーツが盛んで遠州灘を擁する浜松がより全国に周知できたらという願いを込めて。 遠州灘を望み豊かな水資源に恵まれ、今後のマリンスポーツの発展を祈念する。 		20
3	曳馬野区	ひくまのく	<ul style="list-style-type: none"> 古来より浜松宿から三方原台地にかけて、まさに今回のA区辺りを「曳馬野」と呼んでいたから。 浜松市中心部から三方原までのエリアを指す地名だから。 語感が広がりのある豊かなイメージ。 		21
4	渚区	なぎさく	<ul style="list-style-type: none"> 遠州灘、馬込川、佐鳴湖と海、川、湖と波の打ち寄せる風光明媚な浜松をアピールしたい。 海・湖のように広く、心優しく、心が広い地域ということを表した。 移住者にポジティブな第一印象を与える区名にすることを踏まえて（見ず知らずの土地に引っ越すとき、多くの方は地名から土地柄をイメージするため）。 馬込川や浜名湖、弁天島海岸や遠州海岸がある水に縁のあるこの区にぴったりな名前。 渚のもつ「時間的、空間的にどこまでも続く、永遠」の意味合いから浜松市新3区が永く人々に親しまれ未来に続く事を願って。 		25
5	青区	あおく	<ul style="list-style-type: none"> 遠州灘に面していて、海の色イメージ。 温暖な気候、快晴な天気が多く、青空や青い海が似合う街。 空の青、湖の青、川の青、美しい青色に囲まれているため。 		27

No	名称	ふりがな	区名の理由（抜粋）	A B 重複	応募件数 順位
6	美浜区	みはまく	<ul style="list-style-type: none"> 海、湖、川などの水辺に囲まれた美しい町。 遠州灘という美しい浜辺、およびその周辺の自然は浜松における非常に大切な資産であると思い、それらの美しい浜辺や自然を今後とも末長く守っていきたいと思ったため。 天竜区の「天」が末広がり、今後のさらなる発展に繋がりそうだと感じたので、同様に末広がり「美」が入ると「みはまく」と音も綺麗で、美しい海岸線を想像できる。 これからも美しい街、浜松として誇れる街になるように願いを込めた。 		29
7	浜津区	はまつく	<ul style="list-style-type: none"> 浜松の昔の呼び名であり、「津」が海や港、河岸を表すのでA区を表すのにふさわしく、歴史も感じられる。 区再編により原点に帰る意味を込めて。浜松のおこりである伊場遺跡の木簡にあった浜津がよい。 承平年間に編纂された「倭名類聚抄」では「浜津」と呼ばれていたため、未来の浜松をつくるための基本と考えて。 		32
8	未来区	みらいく	<ul style="list-style-type: none"> 出世城の浜松城。未来を見つめて力強く進んだことにちなんで。 新たな浜松市のスタートが未来の子供達に夢を託せる街になるように願いを込めた区名。 発展した地域であり、今後さらなる発展を祈願し希望に満ちた名前であってほしいから。 浜松といえば産業都市。カーボンニュートラルに向けて最先端技術で世界に発信。未来創造都市を略して未来区。 	●	36
9	ひかり区	ひかりく	<ul style="list-style-type: none"> ひかりかがやくまちになってほしいから。 国内でも指折りの日照時間が長く晴天日が多いこと、未来への希望を兼ね備えた単語であること。 浜松の素晴らしい芸術や産業が今後も盛んに発展して、ひかり輝く都市であることを願って。 	●	38
10	青波区	あおなみく	<ul style="list-style-type: none"> 遠州灘、佐鳴湖、浜名湖など、豊かな水に囲まれているから。 吉祥紋の青海波から。無限に広がる穏やかな波。豊かな恵みと平和な暮らしへ繋がるように。 市歌の最初の言葉は“八重浪”。遠州灘や浜名湖に面しているため、青と波で考えた。どんな状況下（荒い時も穏やかな時も）絶えず打ち寄せる波に、永遠の繁栄を思い重ねた。 		48
10	桜区	さくらく	<ul style="list-style-type: none"> 浜松城公園、佐鳴湖、馬込川堤防他各地に桜があること。 フラワーパーク、ガーデンパーク、お花あふれる素敵な街であり、春の浜松城公園の桜は浜松の人々が誇れる一つだから。 未来へ期待できるイメージ、新しいことへ向かえる。 	●	48
10	みらい区※	みらいく	<ul style="list-style-type: none"> スズキ、ホンダ、ヤマハなど製造業のまち。新しい未来への希望をこめて。 産業の活発な町なので、未来に向かって発展してほしい気持ちを込めた。 未来へ向かって区が発展するように。 	●	48

No	名称	ふりがな	区名の理由（抜粋）	A B 重複	応募件数 順位
13	花区	はなく	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーパークなど花を連想する施設を有し、世界に一つだけの花の歌で有名になったガーベラの生産量が日本一である地域。浜名湖花博開催時には沿道に多くの花を咲かせるなど花を愛する市民の精神がある地域。浜松駅前にも多くの花があり、この区名になることで益々明るい区民性が育まれる。 ・花のように明るく元気なようにという意味。 		52
14	光区※	ひかりく	<ul style="list-style-type: none"> ・国内屈指の晴天率を誇る地域であり、区割り変更後に、新しいスタートを切り、輝いていくイメージを持てるため。 ・未来への希望を持てる言葉のイメージ、浜松市は全国屈指の日照時間が長く明るい印象。 ・光技術の町であるのと、浜松市の光り輝く未来を願って。 	●	57
14	緑区	みどりく	<ul style="list-style-type: none"> ・遠州浜と松の緑に囲まれた街。 ・松林の緑、そしてこの地域は日本有数の野菜の産地であり、緑豊かな地域であること。 ・緑色は平和をイメージする色の一つであり、また生き物が息吹くイメージ、新たな出発を感じる色でもあり、区再編にあたり、再出発の意味も含めて、適切ではないかと感じた。 	●	57
16	青葉区	あおばく	<ul style="list-style-type: none"> ・遠州灘と浜名湖の瑞々しい水の青のイメージ。 ・海を身近に感じつつも街並みには季節折々の緑が映えているから。 ・自然豊かな街だということが想像できること、これから区民の住みやすい街に成長していくという期待がもてそうな名前だから。 ・未来に向かって成長していく樹々のように健やかに成長して欲しい。 	●	60
17	浜風区	はまかぜく	<ul style="list-style-type: none"> ・砂丘と、遠州のからっ風から。 ・海から吹き渡る風は温暖な地やそこで育つ特産品を育む。 ・浜松の遠州灘から吹く風で、いつも風通しの良い心地よい生活環境がある街という意味。 		62
17	ひくまの区※	ひくまのく	<ul style="list-style-type: none"> ・曳馬野から。読みやすくひらがなにした。 ・浜松地方の平野の名前。漢字は複数のあて字があり、平仮名で。 		62
19	青空区	あおぞらく	<ul style="list-style-type: none"> ・空の青は、澄んでいて気持ちいいものであり、広々としたイメージは5区から1区への再編に合う。 ・遠州灘の青空をイメージして。青空のように澄み渡る未来を浜松市に願いを込めて。 ・青い海が印象的な地域であり、明るく開放的なイメージ。 ・日照時間が長く晴れの日が多いこと、また浜松まつりにおいて空高く凧揚げを行うことから、晴れ渡る明るい青空の印象がふさわしい。 	●	64

No	名称	ふりがな	区名の理由（抜粋）	A B 重複	応募件数 順位
19	白波区	しらなみく	<ul style="list-style-type: none"> ・遠州灘の白波のイメージ。 ・天竜川、浜名湖、遠州灘と、三方を水に囲まれた区なので、水にちなんだ名前が良いのではないかな。 ・A区は浜松市の産業、工業の集積地であり、未来に向かって躍動するのにふさわしい区名。 ・暴れ天竜川と遠州灘の荒波に象徴される白波区は浜松市が引き続き新しい時代のうねりの先頭になり発展する事に期待する。 		64
21	八重波区	やえなみく	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの区と1つの地区がそれぞれの良さを持ち寄りいっしょになる重層的イメージを、八重とした。 ・浜松市歌の一部から抜粋。多くの区が折り重なり、更なる発展を遂げてほしいという思いから。 		66
22	さくら区※	さくらく	<ul style="list-style-type: none"> ・旧区5つを桜の花びらに見立てる。「咲くら！」遠州弁で未来志向でありたい。 ・桜を見ることが出来る浜松城や公園がたくさんあるため。 ・さくらの元には人が集まり、賑わう。賑わえばそこに新しいチャンスが生まれる。人が集い、新しいビジネスが生まれる、そんなダイナミックで美しい街になって欲しいという願いを込めて。 		72
22	八重浪区※	やえなみく	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市歌一番冒頭より引用。八重浪が寄せる、美しい中田島砂丘を有する遠州灘のような美しい区になってほしいから。また、いかなる困難に直面しても、浪のように何度でも寄って困難を乗り越えるような区になってほしいから。 ・人が未広がり漢字で縁起がいいし、遠州灘もある区になるのでぴったり。 ・海に面する区のため。 		72
24	浜波区	はまなみく	<ul style="list-style-type: none"> ・遠州灘があるから。 ・太平洋に面し、浜の波を感じられる土地だから。 		75
25	音区	おとく	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の暮らしが奏でる音が素敵な音楽となり、未来の浜松を創ることを願って。心地よい音が響く中で、人が家族が地域が創る新しい浜松を想像する。 ・遠州灘の波や空っ風の音。市街地の人々の声、機械の動く音。多様な言語。旧浜松市は古くからピアノや楽器など音楽と共に歩んできた事もあり、馴染み深い地名になる。 		79
25	新浜区	しんはまく	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい区編成のスタート。 ・新しい浜松にしようという意味を込めて。 ・新しさと海に面しているイメージ。 	●	79
25	ピアノ区	ぴあのく	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の街であり、国際的なピアノコンクールの開催地でもある。 ・世界に誇る産業だから。 		79
28	あお区※	あおく	<ul style="list-style-type: none"> ・青い海と空をイメージ。 ・南に遠州灘の青々した海が広がっている。 		91

No	名称	ふりがな	区名の理由（抜粋）	A B 重複	応募件数 順位
28	希望区	きぼうく	<ul style="list-style-type: none"> 希望あふれる青空のような区になるといい。 今後の未来を期待して、新しい発展を願って、望みを持てる区に期待を込めて。 		92
28	平和区	へいわく	<ul style="list-style-type: none"> だれでも安心して住める平和な区になってほしい。今後の平和にと願いを込めて。 明るい区名にしたい。 		92
31	青浜区	あおはまく	<ul style="list-style-type: none"> 遠州灘の青色、中田島砂丘の浜から。 綺麗な青い海、遠州灘を思い出せるため。 		98
31	かなで区※	かなでく	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの町が、音楽のように響き合い、そして、一つのを創りあげるイメージを「奏」という文字に託し、誰からも呼びやすく読みやすいように、ひらがなで「かなで」とした。 A区は、多くの町が集まることになるので、その一体感が想起できるような名前が良い。 		98
31	萩区	はぎく	<ul style="list-style-type: none"> 万葉集などから連想、歴史を大切にしながら、発展していくことを願って。 昔からこの地方に萩の花が多く群生していたため。 		98

※上位に、ふりがなが同じで、漢字、または、ひらがなの別名称あり